

# アイヌの文化とアイデンティティーについて語る

お話：成田得平さん

5月9日土曜日 13:30開場 14:00開演

会場：エルプラザ2階環境研修室

会費：一般500円（学生zoom参加無料）

Zoom ミーティングURL

<https://us02web.zoom.us/j/84647774839?pwd=vFEroY5JujJgIodZYkfoDIwCOzI4o.1>

ミーティング ID: 846 4777 4839 パスコード: 650091



ZOOM QRコード

## 当日のレジュメから

1. 先般のチカホ歩行空間での「アイヌはもういない」パネル展を問う  
「北海道旧土人保護法」などアイヌは和人から多くの恩恵を受けた？。  
「アイヌはもういない」という”排除思想”の根底を見極める。etc
2. 憲法・国際基準・自由と平和・親善友好・共生社会の本質を考える。  
戦後民主主義を標榜してきた私たちに何が問われているのか。  
「歴史」とは何か。「アイヌの視点から問う」日本史。  
「共に生きる」とは何か。国際人権法を活かせない現状を問う。etc
3. アイヌ文化って何。  
知里幸恵の「アイヌ神謡集」にみるアイヌの心根。世界三大叙事詩  
カムイ観と諏訪神社の神事に現れるアイヌ文化と神社神道。  
アイヌの死生観と葬儀葬制と遺骨問題。  
交易の海洋船イタオマチプと伝統家屋チセこそアイヌ文化の中核。etc
4. アイヌ民族と和民族に未来はあるか。  
民族同士のあるべき立ち位置「異なるとして尊重される」



成田得平さん



イタオマチプ

アイヌが伝統的に建造し、漁・航海・交易に使用していた舟艇



チセ

自然木を素材とした掘立柱の軸組みによるアイヌの伝統的な住居建築

カニアナクネnarita tokuheiクネルウェネ。（私は成田得平というものです）

千島、樺太、北海道等地域を問わず「アイヌの一人」として活動している。

「千島列島の得撫島（ウルップ島）の床丹（トコタン）の港に釧路からむかう船の中」で生まれた。産気づいた母（秋辺ミサホ）に船長が産婆役となり無事に生まれ、船長が島の得撫の「得」と船名の琴平の「平」から「得平」と命名した。

母は釧路の春採（ハルトリ）コタンのアイヌ女性、父は成田萬九郎は和人の船大工。

姓は成田だが、アイデンティティーは母方のアイヌ民族。戦後一家は母の出身地釧路に移住し千島に戻れぬ思いから「クリル（千島）アイヌ協会」の設立を願っている。

「日本民藝運動」がアイヌの民具・工芸を正当に評価したことからアイヌ工芸の道に進む。

またアイヌ語話者・文化の伝承者である母方の祖父母クスリウクル（くしろアイヌ）からアイヌ文化を習い、アイヌ活動家としての基点を得た。

2026年は「チセアカラプロジェクトの仕事」として、石狩市（旧）聚富小学校の敷地内でアイヌの”伝統家屋（チセ）”の製作に「サパネクル（頭領）」として従事し、同年12月に完成予定。主催団体は「ひびきの丘PROJECT」で、統合医療を主にした事業体で、人と自然の共生文化としてのアイヌ文化に関する活動も行っている。

主催：「北海道パレスチナ医療奉仕団」

連絡・問合せメールアドレス： [hokkaido.palestine@gmail.com](mailto:hokkaido.palestine@gmail.com)

札幌市東区北 19 条東 22 丁目 5-13 団長：猫塚義夫 Tel: : 090-8274-3163

協賛：医療9条の会・北海道



instagram QRコード